

2024度 JICA横浜 教師海外研修募集要項



応募締切
5/24 (金)
必着

多文化共生・移民

海外研修先

ブラジル連邦共和国

海外研修期間

2024年8月4日 (日) ~ 8月17日 (土)

対象教員

神奈川県および山梨県の教員



主
後

催：独立行政法人国際協力機構 横浜センター (JICA横浜)
援：文部科学省、外務省、神奈川県教育委員会、山梨県教育委員会、
横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会



教師海外研修とは

国内事前研修、海外での現地研修、国内事後研修で構成される国際理解教育・開発教育実践のための研修プログラムです。訪問する国の歴史、現状、人々の生活、国際協力などについて学び、国際理解教育・開発教育の実践者育成と推進を目的としています。



JICA横浜2024年度教師海外研修について

(1) JICA横浜教師海外研修テーマ「多文化共生・移民」

様々なルーツを持つ人々が暮らす多文化社会ブラジルには、これまで約25万人もの日本人が移住し、現在ブラジルに日系人が200万人ほどいると言われています。

多文化化が進行する社会を生きる子どもたちにとって、多文化共生・移民の学習は、異文化理解、人権教育、キャリア教育、国際協力、アイデンティティ確立、SDGs等の観点から最適なテーマになり得ます。本研修では、異文化との出会い、葛藤、困難、協力、希望を経験してきたブラジル社会や日系人を知ることで、多様性が尊重され多文化が共生する社会づくりに、大人も子どもも参加するための手だてとしての教材、発信方法・手法について考えていただきます。



国際理解教育・開発教育に関心があり、概念や手法を学び、授業等を通して児童生徒と一緒に異文化、多様性、人権などについて考えてみたい方にオススメです！

(2) 学校内および地域での推進

本研修の学びをいかして学校内および地域において国際理解教育の推進、子どもたち育成の推進をしていただくことをねらいとします。



所属校内での報告会・研修会や、地域での勉強会・部会などにおいて、積極的に本研修での学びを生かし国際理解教育・開発教育の推進を行い、次代を担う子どもたちの育成のすそ野を広げていただくことを期待しています！

事前研修とは？

派遣国の基礎知識、健康/安全管理、教材研究の方法などを学び、海外研修と帰国後の授業実践のための準備を行います。



事後研修とは？

ブラジルでの海外研修全体を振り返りつつ、そこで得た体験や資料を基に、教材、発信方法・手法について考えます。

現地研修では…

JICA海外協力隊活動現場、現地の学校視察、日系人との交流や、現地マーケットでの素材収集等を行います。





研修日程

注)海外研修の日程は諸事情により前後する場合がありますので、ご了承ください。

研修名	場所	日程	内容
国内事前研修①	JICA 横浜	2024年6月22日(土)	・本研修概要・派遣国・視察先の説明 ・海外研修準備(渡航手続き、健康/安全管理、素材収集の方法)
開発教育教員セミナー (基礎編)	オン ライン	2024年7月6日(土)	・開発教育の基礎概念等 ・教材研究の方法
国内事前研修②	JICA 横浜	2024年7月13日(土) 14日(日)	・開発教育のワークショップの体験 ・教材研究の方法 ・前回参加教員との交流
海外研修	ブラ ジル	2024年8月4日(日) ～8月17日(土)	・開発途上国の現場体験 ・教材研究のための素材収集
国内事後研修①	JICA 横浜	2024年8月24日(土)	・研修先で得た素材の整理
国内事後研修②	JICA 横浜	2024年9月14日(土)	・教材、発信方法等の検討
実践授業	所属先	2024年9月 ～2024年12月	・各所属先における授業実践等
開発教育教員セミナー (応用編)	JICA 横浜	2025年1月11日(土) 12日(日)	※実践授業報告も行います。 ・開発教育のワークショップの体験 ・参考事例発表
最終報告会	※	2025年2月～3月	・実践授業の報告発表会

※最終報告会の詳細は研修開始後にお知らせいたします。



応募資格

次の条件をすべて満たす方

- ① 神奈川県および山梨県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等に勤務する教員(公私問わず)、教育委員会の職員であること。
- ② 授業もしくはクラブ活動等で国際理解教育・開発教育・多文化共生を実践されている方、もしくは、帰国後、本研修の経験を実践に活かせる方。
- ③ 所属校内および地域において、積極的に報告会・勉強会などを開催して国際理解教育・開発教育の推進を行っている方。
- ④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、国内で実施される事前事後の研修、海外研修および報告会の全日程に参加可能であること。
- ⑤ 所属校の校長の推薦があること。
- ⑥ 海外研修に際し、健康上の支障がない方(既往症や治療中の疾病、傷病がある場合、応募前に主治医と十分協議すること。場合によっては、医師の診断書を提出していただくことがあります)。
- ⑦ 教材づくり等、他の研修参加者と協働して研修に取り組めること。
- ⑧ 今後、JICAが実施する開発教育支援事業に積極的に参加、協力可能なこと。
- ⑨ 過去に、本研修(海外研修)に参加された経験のないこと。

参加費用

参加者の個人負担とJICAの負担は下記のとおりです。

	個人負担経費	JICA負担経費
国内研修 JICA横浜での 研修、報告会	・食費 ・パスポート取得にかかる費用 ・予防接種代(必要に応じて) ・その他個人的費用	・JICA横浜での宿泊費(朝食費用含む) ・査証代 ・海外旅行傷害保険加入費 ・自宅最寄駅・バス停からJICA横浜までの往復交通費 (経済路線)
海外研修	・食費※ ¹ ・宿泊費※ ¹ ・追加保険の加入費用 ・その他個人的費用	・往復渡航費※ ² ・自宅最寄り駅・バス停から羽田空港もしくは成田空港 までの往復交通費(JICA規定による路線) ・羽田もしくは成田空港および海外での空港使用税 ・現地視察に必要な費用(車両備上など)

※¹ 2023年度例:現地での食費と宿泊費は合わせて13万円程度

尚、金額はあくまで目安ですので、変動する可能性があることをあらかじめご了承ください。

※² 海外研修に係る宿泊施設および往復航空便は、安全面等を考慮しJICAで手配決定します。

募集人数

10名程度(応募書類および面接にもとづき選考を行います。)

応募方法および応募締切

所定の応募用紙に必要な事項を漏れなくご記入の上、JICA横浜開発教育教員向け研修運営事務局宛に郵送ください(郵送先住所は本要項の最終頁に記載してあります)。

2024年5月24日(金)必着

お送りいただきました応募用紙及び写真は返却いたしませんので、予めご了承ください。

なお、応募用紙はJICA横浜のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>



選考方法

一次選考(書類審査)と二次選考(面接審査)にもとづいて候補者を選抜します。

- ① 5月下旬～6月初旬:一次選考(書類審査)結果通知予定
※合否によって連絡時期が異なることがあります。
- ② 6月初旬～中旬:二次選考(面接)実施予定(日時は当方から指定)
- ③ 6月中旬:二次選考(面接)結果通知予定
※合否に関する照会は一切お答えできません。

注意事項

- ① 年次休暇・研修(職専免)等研修中のサービスの扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
- ② 本事業は研修であり、JICAにおける労災保険等の適用はありません。
- ③ 所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。尚、JICAは出張命令依頼書等の発出を行いません。
- ④ 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者の妨げになると判断された方、また、定められた活動に参加できない方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。研修中に研修対象者としての資格を失った場合、キャンセル料等(交通費、旅費、保険料等)は、当該者の全額負担となります。特に海外研修中においては、帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。
- ⑤ 現地の社会状況などの理由により、研修内容の変更、研修日程の延期・中止の場合もございます。ご了承ください。

報告書の提出等

帰国後は2週間以内に海外研修報告書(所定様式:A4・4頁程度)を提出していただきます。
実践授業をJICA横浜のスタッフが参観させていただきますので、予めご承知ください。
授業またはその他の教育活動での実践を報告書(所定様式:A4・10頁以内)にまとめ、帰国後5ヶ月以内に提出していただきます。また、2月初旬に実施予定の報告会で実践授業の報告発表をしていただくとともに、すべての事例をホームページに掲載し、一般公開いたしますので、予めご了承願います。

過年度の実践報告書は次のサイトからご覧いただけます。

<http://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

現地研修での訪問先（昨年度例）

訪問先	内容
JICA海外協力隊との意見交換会	日系社会青年海外協力隊や日系社会シニア海外協力隊から活動の様子を聞き、現地への理解を深める
帰国研修員との交流	ブラジルから日本へ研修に行った経験がある日系人との交流会にて、日系人が日本で体験したことなどを学ぶ
JICA国際協カプロジェクト視察	JICAの実施する技術協力事業や草の根技術協力（自治体やNGOとJICAが連携し実施）を視察し、国際協力への理解を深める。
日本移民資料館見学	日系社会の変化や日本企業の進出、ブラジル社会における日系人の活躍などを学ぶ
児童福祉施設訪問	周辺地域の児童が通う施設にて、子どもたちや職員と交流し、ブラジル社会の一面を学ぶ
アマゾン川	自然環境や生物保護の活動を視察し、技術協力や生物の多様性への理解を深める
市場訪問	ブラジルならではの食品や民芸品などを扱う市場を訪問し、市民の生活を理解するとともに、教材・素材を入手する
学校訪問	授業見学や、児童生徒との交流から、ブラジルの学校の様子を理解する
日系人との交流	日本人移民の方々の農場などの視察や生活様式に触れることで、日本人移民についての理解を深める



過去の参加者の声

移民の方々の姿勢は道徳科の指導項目「希望と勇氣、努力と強い意志」、コロナピニャールで披露していただいた和太鼓の演奏は「国際理解、国際親善」について考える上で魅力的な素材になると考えました。このような考えに至ったのは間違いなく現地を訪れ、生の声を聞き、目的に沿って思考を続けた成果だと思えます。



日系人の農園視察の様子

視察先などで出会う方々と交流することが何よりも学びだと思った。今まで日本でも情報収集はしていたが、子どもたちに何かを伝えるには物足りなさを感じていた。今回、実際に出会った人と触れあうことで、「本当にこういうことがあったんだ」「今まで聞いてきたこととは意外にも違うんだな」とリアルな経験や思いを知ること、今まで以上に子どもたちにも語れる情報になったと思う。



小学校訪問の様子



現地でのふりかえり会の様子

研修の経験を子どもたちだけでなく、現場にいる先生たちにも伝えたいと思っている。日本を出たことのない先生方が増えている中、世界の状況や様子を少しでも実際に体験した人の言葉を聞けば、子どもたちにも伝えたいと感じている。

2024年度 JICA横浜 教師海外研修

お申し込み・お問い合わせ

株式会社メディア総合研究所
JICA横浜開発教育教員向け研修運営事務局

TEL : 0120-441-172 FAX : 03-6665-8852

E-mail : jica-yokohama@mediasoken.jp

住所 : 〒108-0073

東京都港区三田3-13-12三田MTビル8階



※参加申し込みにおいて入手した個人情報、JICAが行う開発教育支援事業のみに使用いたします。
※業務の一部を株式会社メディア総合研究所に委託しています。

